

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院
住 所 加古川市平岡町土山字川池423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

年頭所感

いなみ野病院 院長 長谷川 和 男

平成25年の新年を迎え、職員および関係者の方々に謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと政界では「どじょう内閣」と称し、庶民的な意味を強調していた野田内閣は国民生活に非常に影響を与える消費税の増税を民・自・公の三党協力で成立させましたが、それ以外の重要法案は成立できず、通常国会終盤には参議院で問責決議案が採択されました。そのため民主党は言うに及ばず内閣の支持率も低下の一途を辿り、やむなく10月には第3次改造内閣を発足させました。

しかし3週間で法務大臣の辞任もあり、野党から強く衆議院の解散を要求される始末で、苦肉の策



として野田内閣は特例公債法案の成立と衆議院の定数削減問題の是正論議の期限を決定するということと引き替えに、臨時国会で突如11月16日に解散を断行し、12月16日に総選挙が行われることになりました。「いなみ野の風」が皆さんのお手元に届く頃には総理大臣が決まっていると思いますが、誰でもあってもデフレからの脱却や日本の復興にイニシアチブを発揮してもらいたいと思うのが国民の願いではないでしょうか。

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

一方政治と離れたところでは、なんととっても非常に喜ばしいニュースとしては山中教授がiPS細胞の開発でノーベル医学・生理学賞を受賞されたことでありましょう。今後の日本の再生医療のさらなる発展が期待されることでもあります。またスポーツ界では金メダルの獲得が多かったロンドンオリンピックでの日本選手の活躍がうれしいニュースで、国民は勇気づけられました。

医療界では昨年の4月に「医療保険、介護保険同時改定」がなされ慢性期医療にも少なからず影響を与えました。厚労省は今後高齢者医療制度や介護療養病床の廃止の問題などをはじめとして医療保険制度や介護保険制度などの改革を目論んでおります。

しかし、消費税増税による社会福祉の財源でどれだけ確保されるかは不透明でありますので、高齢化社会に対応する医療・看護・介護などに関する諸問題がさらに噴出してくる可能性は高いと思われます。

現在でも慢性期医療の範疇は、

医療・介護の80%以上を占めていますが、10年後には90%以上になるといわれます。今後ますます慢性期医療の必要性と重要性が高まってくる予測されます。さらに慢性期医療としての療養病床の役割は、急性期からの継承、高度慢性期病床そして在宅への復帰であり、高齢者医療拠点としての救急的機能をもつことも要求されてきます。

いなみ野病院は一昨年日本慢性期医療協会の認定病院として評価されましたが、今後は急性期病院である「はりま病院」の協力を仰いで、連携を一層強化し健全な病院運営のもとに安全で安心、質の高い慢性期医療を提供していきたいと考えております。

新年にあたりここに改めて、皆様の温かいご支援・ご協力・ご理解を心からお願い申し上げます。



アンケート委員会の活動報告

アンケート委員会は平成9年5月、IM委員会の小委員会として発足しました。以降現在まで毎年患者、御家族、職員に対しアンケート調査を行い良質な医療サービスを提供する病院をめざす一環として、大きな役割を果たしています。

また、過去15年間には全日本病院協会や日本慢性期医療協会などの学会へ活動の成果を発表したり、今年度は、日本慢性期医療協会誌へ投稿論文を発表しています。

活動内容

- 家族アンケート・・・郵送による調査（年1回）
- 患者アンケート・・・抽出による聞き取り調査（年1回）
- 退院アンケート・・・毎月退院患者に郵送による調査
- 職員アンケート・・・配布による記述調査（年1回）

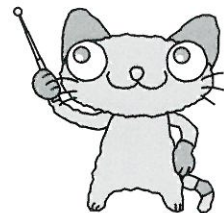


アンケートでいただいた意見の中で、緊急性を要する場合は各部門を通じて該当する部署に対応を要請しています。通常の場合は集計後定期的に開示、意見を各部署で改善策の検討をし、本館1階、南館1階に掲示しています。

昨年も8月に患者、御家族の皆様アンケートを行いました。

ご協力頂きありがとうございました。

今後も病院発展の為に委員一同、努力していきたくと思っています。



クリスマス会

平成24年12月7日に恒例のクリスマス会を実施しました。午前と午後の2部構成で行い、参加者数は合計で患者様が136名、ご家族様が68名と多くの方にご参加いただきました。

午前・午後の部はともに長谷川院長の開会の言葉に始まり、おわりの言葉は看護部長・各病棟師長が水戸黄門の一行に扮しておこないました。

午前の部は、ボランティアのサンキュー座様から、どじょうすくい・銭太鼓・フラダンスを披露していただきました。どじょうすくいでは、患者様とのかけ合いもあり躍動感のある演技で、歓声と笑いも起こり会場一体となりました。銭太鼓の賑やかさ、フラダンスの優雅な踊りでとても楽しい時間となりました。事務部門からクリスマスソングの合唱も行われました。



午後の部は、当院の院内行事で20年以上出演していただいていますボランティアの鼓銭会様により民謡や太鼓などを披露していただきました。出し物は定番となっている花笠音頭や銭太鼓などから、今年初のお披露目となった津軽じょんがら節や網のし唄など、三味線や太鼓の音が会場中に響き、生の迫力ある演奏と民謡を患者様が楽しんでおられる様子を拝見することができました。

午前・午後ともに出演があったのが、リハビリテーション課からのミュージックベルの演奏でした。雪の結晶やオーロラ、宇宙から眺めた地球など、幻想的な映像が流れる中、ミュージックベルの澄んだ音色がクリスマスムードを醸し出していました。レク・ボランティア委員会からは、患者様にも一緒に舞台にあがっていただき、高校三年生や星影のワルツの合唱を行い、赤鼻のトナカイでは会場にたくさんの風船が舞い、皆で楽器の演奏を楽しみました。会場内の皆が患者様の歌の上手さに驚かされる一面もありました。最後は会場全員できよしこの夜の合唱を盛大に行うことができました。

多くの方のご参加、またアンケートへのご協力もいただき、誠にありがとうございました。今後も患者様の楽しみの会として、よりよい会にしていきたいと思っております。今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。



この度、「第20回 日本慢性期医療学会(平成24年11月8日～9日に福井県で開催)」に当院の南館1階病棟 奥師長が演者として参加されました。演題は「慢性期病院の卒後教育見直しへの取り組み」で、発表されたカテゴリーは「医療の質」でした。以下に抄録を掲載いたします。

慢性期病院の卒後教育見直しへの取り組み

— 経験年数の高い中途採用者を対象として —

特定医療法人 社団 仙齡会 いなみ野病院

○奥八千代、藤森和恵、田端十四男

【はじめに】

最近では医療の進歩や医療情報を多く取得出来ることから、慢性期病院における看護・介護職種に求められる役割や責任は変化している。当院は療養病床290床(介護療養病棟230床、医療療養病棟60床)の病院で平成20年日本医療機能評価機構、平成23年日本慢性期医療協会認定病院を取得した。その関係からリハビリ、看護、社会福祉士等の実習病院の指定を受けており、日々医療・看護・介護の質の向上を目指し努力を重ねている。また病院独自のいなみ野マーケティング委員会が中心となって職員教育の場を提供し、活発に集合研修も行っている。しかし看護部には経験年数の高い中途採用者が多いため経年別研修の必要性を感じその見直しを行った。

【目的】

看護部の理念に基づき慢性期病院の看護・介護の質向上と個々の資質と役割認識の強化、中間管理者(師長・主任クラス)の教育担当者としての自覚を促すことを目的とし、卒後教育見直しに取り組んでいる。

【対象と方法】

対象は看護職員(経験年数11年以上の中途採用者が多い)65名と介護職員(介護福祉士24名、介護士44名)68名とした。教育は中間管理者が担当し、研修は経験5年未満、10

年未満、11年以上の看護職経年別研修と介護職員研修を行った。

【結果・考察】

今年度初めて見直した卒後教育であったが、病院側の全面的な支援があったので、その環境づくりは比較的スムーズに行えた。経験11年以上の最も多い対象者に力を入れ、特に慢性期医療における重要なテーマである「終末期ケア」に関して看護・介護を語れる研修を試みた。

また医療・介護および認知症病棟間を超えた緊密性が職員に芽生え、中間管理者の育成にも役立った。

今後の課題は、経験年数の高い他院からの中途採用者は当院の強みとし、個々の能力をさらに引き出せる研修プログラムを構築すること、「根拠にあるケアの実践と、疾患を診るのではなく人を観る」ことができる人材を育成し、良質な慢性期医療を担える看護・介護力の向上を目指していきたい。



2分間スピーチ

8月

本館1階 大西 春美

ある小学校で、「あなたが言われてうれしい言葉は何ですか？」というアンケートがありました。その結果一番多かったのが「ありがとう」の言葉で、理由は「心がほかほかするから」だそうです。

確かに言ってもらえると、心地良い気持ちになります。介護をしていて患者さんから「ありがとう」と言われると、その一言で許してしまえるのだから「ありがとう」の言葉はスゴイと思いました。誰かに教えていただいた。誰かに手伝っていただいた。誰かに褒めていただいた。

など感謝する事がたくさんあります。誰に対しても「ありがとう」の感謝の心を伝え、周りの人も「気持ちがいいね」と、思ってもらえる様な挨拶を、これからも心掛けたいと思います。



9月

本館2階 北里 菜月

今日は私の母について話したいと思います。

私の母は今年の4月から、介護福祉士の資格を取るために学校へ通っています。母が長年つとめていた仕事を辞めて、学校へ通うと

聞いた時は大変驚きましたが、楽しく通っている母の姿を見て、やっと自分の時間が持てたんじゃないかなと嬉しく思いました。

『親の背中をみて子は育つ』じゃないけれど、私は子供の背中を見てこの道に進もうと決めた」と母から聞いたとき、「私も負けてられない、もっと頑張ろう」と思いました。

これからも母とは良きライバルとして助け合い励まし合いながら、お互いの目標に向かって成長していきたいと思えます。

いなみ野病院に就職して今年で3年目でいたらない点もあると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



10月

本館3階 佐伯 松美

いなみ野病院に就職してから今年10月で3年になります。

以前は在宅看護に興味があり、介護度の要支援の利用者60名を担当し、毎日同居や高齢者夫婦の自宅を訪問し、ケアプランを作成していました。利用者の中には一人で入浴しようとして亡くなった方や、ストーブの上の沸騰したやかんの湯をこぼし重度のやけどを負った方、一人でいる時に喘息の発作を起こし救急車で緊急入院した方など、在宅生活での厳しい現実が私の中で苦しくなっていました。もう一度病院で働きたいと思うようになりました。

それからは、ゆっくり働きやすい場所を探そうと利用者が入院している病院や、デイサービス、特養などの施設を訪問しながら雰囲気を見てまわりました。そんな中、みどり園訪問の際、満開の桜並木に感動し、いなみ野病院が私の中で第一

候補になりました。職員駐車場が隣接され正面の庭も手入れが行き届いており、働きやすいイメージをもちました。

面接の日、緊張しながらロビーで待っていると、私の前を通っていくリハビリ送迎中の介護士さんや給食職員、事務所の方、レントゲンへ送迎中のナース、みなさんが「こんにちは」と声をかけてくれました。病棟では何をしていたのか分からず立ちすくんでいる私に、細かく業務の流れや患者の特徴を教えてください、わからないことを聞きやすい雰囲気でした。

病院周囲の風景が四季折々きれいで、整備された敷地や清掃の行き届いた施設。その中に一步入った時に職員のおいさつや声かけを感じられる事が、こんな所で働きたい、こんな所で親を看護・介護してほしい…につながると思えます。

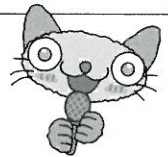


いなみ野病院 ブログ開始

平成24年8月9日より、「いなみ野病院 ブログ」を開設しました。掲載内容は、なつかし会 クリスマス会などの院内行事のお知らせ紹介や病院での出来事などなどを紹介させていただきます。

病院ホームページのトップページよりリンクしています。皆様一度ご覧ください。

こちらをクリックして下さい



病棟でのクリスマス風景です。
毎年ツリーなどの飾りつけを行っています。



●●● 編集後記 ●●●

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

去年はロンドンオリンピック開催や衆議院議員総選挙があり慌ただしい1年でしたが、今年はどうでしょう(ちなみに今年の4月1日をもって、20世紀生まれの小学生がいなくなるそうです。)

本年が皆様方にとって良い年になりますように。今年も昨年同様よろしくお願い致します。

いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科
病床種別 療養病床 290床
(医療保険 1病棟 60床)
(介護保険 4病棟 230床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料 1
- 療養病棟療養環境加算 1
- 脳血管疾患等リハビリテーション(I)
- 運動器リハビリテーション(I)
- 入院時食事療養(I) ・ 栄養管理実施加算
- 薬剤管理指導料

介護保険

- 病院療養型 I型
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型(3病棟)・減算型(1病棟)
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制あり
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制 理学療法 I ・ 作業療法 ・ 言語聴覚療法 ・ その他